

安全人報誌

安衛委 No109
平成22年12月10日
安全衛生推進委員会

年末年始無災害運動

実施期間

平成二十二年十二月一日～
平成二十三年一月十五日まで

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるように実施するものです。

作業や生活のリズムが変わりやすかったり、非常勤作業が多くなる時期であり、災害防止のための配慮が必要になることから、「安全第一」という基本に立ち戻り、今年一度気を引き締めて、作業前点検の実施、作業手順の遵守、非常勤作業における安全確認の徹底、交通ルールの遵守等を図ることが重要です。

平成22年労働災害発生状況 (10月末)

福島労働局	平成22年		平成21年		対前年比	
	死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
土木工事業	1	70	6	76	-6	-7.9
建築工事業		119		147	-28	-19
その他	4	40	2	47	-7	-14.9
計	5	229	8	270	-41	-15.2

郡山労働監督署	平成22年		平成21年		対前年比	
	死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
土木工事業		7		16	-9	-56.3
建築工事業		19		41	-22	-53.7
その他		3	1	5	-2	-40
計		29	1	62	-33	-53.2

交通事故防止運動

運動期間

平成二十二年十二月十日～
平成二十三年一月七日まで

運動の重点

○飲酒運転の根絶

飲酒運転は、悲惨な交通事故を起こす原因になることを知らない人はいないと思います。

また、その軽率な行動が、被害者及び被害者家族の悲しみ、加害者家族の悲哀（失職、家庭崩壊等）

多くの人を不幸にしてしまいます

○夕暮れ時と夜間の交通事故防止

「PM4ライトオン運動」実施

午後四時にはライトを点けましょう

夜間はスピードダウンしましょう

原則上向きライトで走行しましょう

○すべての座席のシートベルトと

チャイルドシートの着用の徹底

JAFと県警の合同調査結果によると、本県の一般道におけるシートベルトの着用率については、運転席で前年を0.4%上まわり

ましたが、助手席で0.8%後部座席で2.4%低下したとの結果

が得られました。死者四人中二人は

がベルト非着用であり、十一人は

着用していれば助かっています。

各現場での安全対策又はヒヤリ体験談

今回は、地方特定道路整備工事常葉芦沢線担当の松崎浩徳さんです。

今回の現場は、商店街での施工だったので交通誘導員及び見張員等を多数配置して行つたけれど、施工している重機等の前後より歩行者等が見境もなく道路を横断して、私たちをヒヤリとさせたりしたので、今後、このような場所を施工する時は、見張り員等に徹底して、横断しようとする人がいるときは、見落とさないように見張り員等に徹底させたい。



地方特定道路整備工事（竣工）